

# ギカイレポート



## 議会報告会

11月15日 \ 46名の市民の方に参加していただきました /



《議会報告会》



議会報告会に初めて参加した。実施方法はいろいろあると思うが、今後も続けてほしい。

民生委員の権限が少なく、困っている人に対し接し方がわからない。権限の見直しをしてほしい。

市議会は、国や県への要望を遠慮なく上げて欲しい。交付金などを増やすような要望をしっかり出してほしい。

北中や狭山ヶ丘方面は高齢者人口も多いのにところバスの本数が少ないので、増便、ルート改善やところワゴンの活用など公共交通を充実させてほしい。



参加者の声

こども施策に加えて、高齢者施策をもっと充実してほしい。

11月18日



若い世代の声を聴くため、早稲田大学の学生を対象に初開催！「所沢市の介護」をテーマに学生と意見交換をしたのだ！



### Aグループ 島田 一隆 議員 谷口 雅典 議員

大学生の意見

単身高齢者が家を借りられないという課題があることから、今後は民間の福祉事業者と行政と不動産業界が連携して、この課題に対してアプローチしていけるとよいと思います。

議員の意見

皆さんは現場に行って、状況をよく勉強していると感じました。やはり答えは現場にあると思いますので、これからも研究を含めて頑張ってくださいと思います。

### Bグループ 福原 浩昭 議員 石原 昂 議員

大学生の意見

介護職は大変というイメージがあると思いますが、実際に職場で働いてみて、どういった雰囲気なのかを理解してもらいたいと思ったので中高生に職場体験の機会を提供することを検討してはどうかと思いました。

議員の意見

できることはみんなで議論をして、それを丁寧に作り上げていくという姿勢を見ていて、頼もしく思え、このような姿勢は議会でも大事だと改めて感じました。

### Cグループ 荻野 泰男 議員 山口 浩美 議員

大学生の意見

義務教育のときは比較的市の介入がしやすい一方で、高校生や大学生になると所沢市から離れる学生も多く、高校生または大学生と高齢者のコミュニティ作りの場が必要だと思っています。

議員の意見

皆さんの新しい発想をぜひ議会でも吸収して、発信していけるように私たちもしっかり頑張っていきたいと思えます。

### Dグループ 石本 亮三 議員

大学生の意見

役割の増加によって地域包括支援センターがパンクしてしまったり、人材の不足があげられました。若手の人材流出というところで、少子高齢化が影響しているとの意見もありました。

議員の意見

皆さんに福祉施設の生の声を調べてきていただき、ありがとうございました。大変参考になりました。もう何も言うことはございません。



# 議員研修会

## 10月21日 議員に求められるコンプライアンスについて

晴海パートナーズ法律事務所 弁護士



講師

ちようさ なおみ  
帖佐 直美 氏



開催目的

市民の模範となる行動が求められる中、コンプライアンスをはじめ、市民全体の代表者としての議員のモラルを再確認するため開催しました。

## 11月21日 介護保険制度の現状と今後の動向及び保健所設置について

元 淑徳大学コミュニティ政策学部長



講師

かがみ さとし  
鏡 諭 氏



開催目的

制度創設から25年目を迎えた介護保険制度の果たすべき役割や課題について考え、また、保健所設置に向け、保健所の担う役割について正しい基礎知識を学ぶため開催しました。



# 建設環境常任委員会

視察

10月27日 ▶ 10月29日



《視察概要》



春日部市 (埼玉県)

❄️ (新) 中央公園第1公園基本計画

委員長の  
ひとこと

本市においても、旧庁舎・文化会館跡地の「土地活用」についてサウンディング型市場調査が始まったが、視察の中で事業者との具体的な対話内容なども学ぶことができ、今後の委員会審査に活かしていきたいと思いました。



長崎県

❄️ 県庁舎跡地整備基本構想

(県民市民の憩いの場や賑わいの場として利用できる広場としての機能)

委員長の  
ひとこと

令和5年9月から旧県庁舎跡地全体をオープンスペースとして暫定供用を実施しており、この期間の中で利用者から意見を聞きつつ、地元と接点を深く持ちながら跡地整備を考える手法は大変参考になりました。



福岡県

❄️ 県営公園 おおほり 大濠公園・天神中央公園・西公園 (Park-PFI?)

委員長の  
ひとこと

事業者選定段階においては、行政側と民間事業者との考えに違いが生じる課題もあったようで、民間事業者とのサウンディング型市場調査では、意思疎通の面でも丁寧な対応が必要なことも見えたので参考にになりました。

? Park-PFI: 民間が施設を整備・運営し、その収益を広場や園路の改修に還元して公園の魅力を高める制度



# 総務経済常任委員会



《会議録》

所管事務調査 11月4日・11月21日

## 「旧庁舎と文化会館跡地の活用」

旧庁舎と文化会館跡地の有効活用策について、「賑わい・交流」「市民の憩い」「歴史・文化」「自然・緑」「環境」「防災」など様々な視点で市が検討していることから、調査、研究を行うため、委員会を開催しました。当日は参考人に出席していただき、御意見を伺いました。



サウンディング型市場調査が終わった後、2年間かけて市が解体を行って、その後公募選定という認識でよろしいか。解体した後に事業者を決めるのか。それとも事業者が決まってから解体するのか。



解体を念頭に予算化等を進めているが、令和7年度に調査をして、解体するにも設計が必要なので、順調に進めば令和8年度、9年度で解体設計を行う。その間に開発事業者の公募まで進んでいけばよいというイメージである。

## 農地・これからの農業

市では、農業者をはじめ地域の人々と交流し触れ合うなど、人が自然に寄り添う中で真に豊かな暮らしの実現を目指していることから、調査、研究を行うため、委員会を開催しました。当日は参考人に出席していただき、御意見を伺いました。



市の畑は、市境に沿っており、市としての取組もそうだが隣接している自治体との連携した取組というのも必要ではないかと思うが、どのような状況にあるのか。



例えば市の独自の補助金に関しては、他の市を連結するというのは現在のところ行われていない。市境を挟んだ取組についても県の川越農林振興センターと三者の間でやっていく形になるのかと思うが、現状では具体的に連携した取組については進んでいない。

## 「中核市」のうち産業廃棄物行政

中核市への移行で市民にとってのメリット、デメリットや財源の措置など、さまざまな課題があるため、中核市について調査、研究を行うため、委員会を開催しました。

## 「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略」

第3期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の骨子案の説明を受けるため、委員会を開催しました。



# 健康福祉常任委員会



《視察概要》

視察 11月4日▶11月5日



福島市（福島県）  
❄️ 福島市保健所

委員長の  
ひとこと

専門性が必要な保健所の人材確保・育成は必須であり、福島市では保健師の応募は採用予定人数を上回るとのことだが、当市では、保健師の確保は厳しいことから、採用条件が大きな課題だと改めて感じました。



福島市（福島県）  
❄️ 福島市バリアフリーマスタープラン（心のバリアフリーの取組）  
❄️ 障がいのある人もない人も共にいきいきと暮らせる福島市づくり条例  
❄️ 福島市手話言語条例

委員長の  
ひとこと

福島市職員対応要領を規定に盛り込んだバリアフリー推進パッケージ（庁内横串施策）は、一つの部署だけの課題とせず、全庁的な取組によって、全市的に推進することが期待できると考えられ、大変参考になりました。



## 市民文教常任委員会



視 察

11月4日 ▶ 11月6日

≪視察概要≫



天理市（奈良県）

※ 子育て応援・相談センター「ほっとステーション」

委員長の  
ひとこと

教職員の退職者や休職者を減らすために、保護者からの相談・苦情は学校ではなく、ほっとステーション（子育て応援・相談センター）に連絡してください、という非常に大胆な施策を強力に推進していることに驚きを感じました。



岡崎市（愛知県）

※ 校内フリースクール「F組」

委員長の  
ひとこと

「適応するのはこどもではなく学校である」との基本理念に基づき、2023年度には、市内の全ての中学校20校に、校内フリースクール「F組」を設置した先進的な取組には目を見張る思いでした。



豊田市（愛知県）

※ とよた地域クラブ活動展開プラン

委員長の  
ひとこと

令和8年の夏以降、部活動は教職員（教育委員会・学校）が運営するのではなく、市長部局が主体となって組織した「地域学校共働本部」（全中学校区に設置）が運営する仕組みを築き上げた施策は非常に先進的でした。



## 議会運営委員会



視 察

11月17日 ▶ 11月19日

≪視察概要≫



横手市議会（秋田県）

※ ペーパーレス化

委員長の  
ひとこと

タブレット端末の導入により、紙削減による経費削減については大きな効果があり、具体的な数字が見えるものであるため、ペーパーレス会議システムを導入した当市議会においても目標とすべきものであることを確認しました。



北上市議会（岩手県）

※ 議場のバリアフリー化

※ タブレット端末の導入

委員長の  
ひとこと

当市議会の議場を含めて、議場という造りの関係上、既存の議場をバリアフリー化することが容易ではないことも分かりました。タブレット端末を導入したときは完全ペーパーレス化からスタートしたものの、逆行して徐々にペーパー併用になってきたという話が印象的でした。



福島県議会

※ スマートディスカッション

委員長の  
ひとこと

県議会と市議会では体制や環境が異なる部分もありますが、同じペーパーレス会議システムを使用しているだけでなく、利用開始から3年余りが経っていることから、導入し始めたばかりの当市議会において、導入後の過程は先行事例として参考になることが多くありました。